



山田清一
公明党



問 どのような将来展望をもって、令和5年度予算編成をしますか。

市民・事業者・有識者の声を聴き、各種会議体を立ち上げ、得られた提言・提案は、「市民自らが行動しお互い支えあうことができるまちづくりや市民の満足度向上につながるもの」との将来展望をもって、予算編成をしました。

問 学校施設等の公共施設を利用したゼロカーボンシティへの取り組みについて伺います。

省エネ設備の設置はもちろんのこと、徹底した省エネを推進することとし、令和5年度に実施設計を予定している亀崎小学校については、従来の建物に必要なエネルギー

の50%を削減する「ZEB Ready」を目指していきます。

問 民間事業者等からの提案により課題解決につながる「民間提案制度」の創設について見解を伺います。

民間事業者のアイデア、技術を活かして解決する仕組みづくりについて、他自治体の実績などを踏まえ、調査研究します。

問 「半田市公共交通バス」および「おでかけタクシー」の今後の展望について伺います。

現在の公共交通ネットワークを維持しながら、公共交通空白地域の解消を「路線バス」や「おでかけタクシー」のほか、新たな公共交通の仕組みの導入も視野に入れて進めます。



南吉バス(半田中央線)



嶋崎昌弘
自民クラブ



問 イの一番に成し遂げたい施策は何ですか。

教育・子育て、地域経済、DXの分野であり、施策の具体化に向けて最優先で取り組んでいきます。

問 幸せになるための教育会議での結果、教育の現場で、どのような成果がありましたか。

これまでの教育と目指すものは同じであると整理ができ、小学校における専科教員や、学校地域協働支援員の配置を進めていきます。

問 新病院建設事業で、北部からのアクセス道路は、令和5年度にどれだけ進捗しますか。

道路工事に着手し、既設水路の暗渠化や島田橋の耐震化を行い40%程度

進捗する計画です。

問 子育て・教育支援で、伴走型相談支援とは、半田市バージョンの、ネウボラ方式と考えてよいですか。

地区担当の保健師等が、全ての妊産婦に面談、産後2週間に助産婦が電話で相談に応じる「すこやかベビー応援コール」を実施し、半田市版ネウボラ事業として推進していきます。

問 コロナ禍、ウクライナ情勢等による物価高騰で、市民生活に影響を及ぼしている中、水道基本料金の減免を半年間に延ばしたらと考えますがいかがですか。

市民生活を考えることは大切です。社会情勢がいま以上に悪化した時には、補正予算を組んでも行います。



伊藤正興
チャレンジほんだ



問 幸せになるための教育について、各学校や教員が主体的に考え自由に進めていくことですが指導要領等は作成しますか。

幸せになるための教育を実現する会議からの提言を受け、各学校、各教員が主体的に自由に考え進めていきます。そのため、新たに指導要領等は作成しません。

今後、小中学校では各校の教育目標を見直し、目指す子ども像へ迫る教育活動が実施されます。

問 中心市街地の活性化が市全体の活気につながるのとことですが、中心市街地から離れた地域にどのように広がっていくと考えていますか。

中心市街地に求心力が高まり関係人口が増加することで、市内の観光や文化資源、魅力ある店舗にも目が向けられ、中心市街地以外にも訪れる人が増えるなどの相乗効果が期待できます。

問 新病院へのアクセス道路周辺には都市計画道路環状線の計画がありますが整備についてはどのように考えていますか。

新病院へのアクセス機能と共に市内の交通を円滑にする機能をもつ重要な幹線道路であり、本年2月には阿久比町長との会談により、できる限り早く環状線の整備が実現できるよう協力していくことを確認しました。

